

照明器具リニューアルのすすめ

Recommended replacement of lighting fixtures

安全性

10年経過した照明器具は赤信号！^(点検) **チェック** & ^(交換) **チェンジ**が必要です。
照明器具の劣化は外観ではわかりません。

現在お使いの照明器具に
こんな現象は出ていませんか？

最近、故障が増えている。

ランプの交換が多くなっている。

焦げ臭いにおいがする。

掃除しても汚れがとれない。

ソケットが変色している。

毎日、なにげなく使用している照明器具。耐用年数の限りがあるにもかかわらず、案外見過ごされているのが現状です。10年を過ぎた照明器具は、外観だけでは判断できない器具の劣化が進んでいます。例えば、器具内の安定器が絶縁劣化により発煙事故に至る場合があります。安全性の面からも早めに点検と交換をご検討ください。

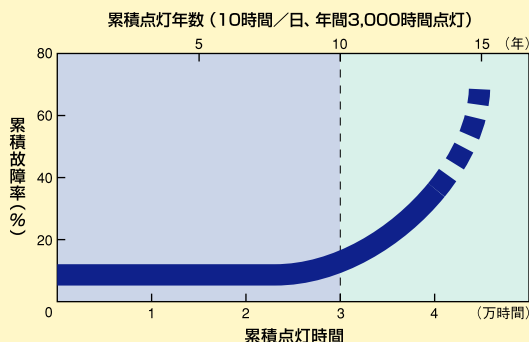


▲劣化が進んだ安定器の内部(例)。
ビニル電線被覆が熱のために変形し、もろくなっています。

照明器具の交換目安は約10年です。

古くなった照明器具は早めに取り換えるのが一番ですが、JIS（日本工業規格）によれば、交換の目安を約10年としています。

照明器具の累積故障率



照明器具の適正交換時期の目安

使用時間	3,000時間/年（10時間/日）			
主な用途	事務所、工場（一般）、店舗			
使用条件	電圧	定格		105%
	温度（℃）	30以下	40	30以下 40
交換時期（年）	10	5	7	3.5

※次の条件で使用されますと絶縁材料の温度上昇が大きくなり器具寿命が短くなります。

- 電源電圧が105%を超えるもの。
- 周囲温度が40℃を超える場所。
- 裏面にガラスウールなどの断熱性の材料を用いたものを天井面に取付けたり、埋込器具背面を断熱性の材料で覆う場合。（断熱材で覆われる場合は、断熱施工器具をご使用ください。）
- 10時間/日を超えて点灯する場合。

（●JIS C8105-1「照明器具—第1部：安全性要求事項通則」の抜粋）

誘導灯・非常用照明器具の**蓄電池の寿命は4～6年**です。定期点検と早めの交換が必要です。（法令により十分な蓄電池容量と定期検査報告が義務づけられています。）

Lighting fixtures in use for more than ten years deteriorate in ways that cannot be detected based only on external appearance. For safety's sake, inspect and replace older lighting fixtures. It is best not to delay replacement of older lighting fixtures; Japan Industrial Standards offers the time of 10 years as a guideline for replacing light fixtures.



人に地球に…やさしいあかり

（社）日本照明器具工業会 調べ